

# カリキュラム

機構施設名： 大分職業能力開発促進センター

実施機関名： 学校法人コア学園

|          |          |                    |
|----------|----------|--------------------|
| (D)データ活用 | 表計算ソフト活用 | ピボットテーブルを活用したデータ分析 |
|----------|----------|--------------------|

|         |  |
|---------|--|
| コースのねらい | 表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、効率よく大量のデータを集計し、様々な視点からデータの分析を行うための手法を習得する。 |
|---------|--|

| 講義内容 | 「基本項目」 | 「主な内容」             | 訓練時間 (H)   |     |
|------|--------|--------------------|--|-----|
|      | 1      | 多角的データ分析           | (1) 基本の集計と分析方法<br>ピボットテーブルの基礎操作を活用して、データをさまざまな角度から分析する方法について説明し演習する<br><br>・行、列フィールドの設定を通じて、異なるデータの分類と集計<br>・異なる集計方法(合計、平均、最大値/最小値、カウント)の使い分け<br>・グループ化機能を使った日付やカテゴリのまとめ<br>・データをフィルターやスライサーで絞り込み、特定の分析結果を得る | 2.0 |
|      | 2      | ピボットグラフによるデータの見える化 | (1) ピボットグラフの作成とカスタマイズ<br>データを視覚化することで、簡単に理解できる方法について説明し演習する<br><br>・ピボットテーブルからグラフを作成<br>・棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフなど、異なるグラフの種類を活用して、データの特徴を強調<br>・グラフの編集(タイトル、ラベル、色、データの強調)<br>・スライサーやフィルターを活用した、インタラクティブなグラフの作成      | 2.0 |
|      | 3      | 複数テーブルの分析          | (1) 複数のデータソースを統合する方法<br>データ分析の高度なテクニックについて説明し演習する<br><br>・リレーションシップを使った複数のテーブルの接続<br>・外部データや複数のシートを組み合わせて分析する<br>・複雑なデータ構造の中で、共通のキーを使ってデータを統合し、ピボットテーブルに反映させる<br>・実践的な課題を使って、複数テーブルのデータ統合を実際に操作させる           | 2.0 |
| 合計時間 |        |                    | 6.0  |     |

|               |  |
|---------------|--|
| カリキュラム作成のポイント | ピボットテーブルを活用し、大量のデータを素早く・正確に分析する方法を学びます。売上や顧客データ、実績一覧など、日常業務で扱うデータを、視点を変えて自在に集計できる実践的な内容です。<br>操作を覚えるだけでなく、データの整え方、集計軸の考え方、分析に活かす視点まで丁寧に解説。手作業による集計や集計ミスを減らし、報告資料作成の時間短縮と業務効率化を実現します。<br>「集計や分析に時間がかかる」「数字をもっと仕事に活かしたい」方に最適な講座です。 |
|---------------|--|

|   |   |
|---|---|
| 訓練に使用する機器等  |   |
| ●機器・ソフトウェア(受講者用)  | ●機器・ソフトウェア(講師用・その他)   |
| ・PC(受講人数分)<br>OS:Windows11<br>アプリケーション:Microsoft Office Excel | ・PC(講師用) ・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード<br>OS:Windows11<br>アプリケーション:Microsoft Office Excel |
| ●使用するテキスト   | ●その他  |
| 独自テキストまたは受講者に応じて市販テキスト  |   |

|  |    |
|--|----|
| 利用事業主に用意をを求める機器等   | 備考 |
| ・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード ・マーカー(赤・黒)<br>・受講生が使用するPC<br>※上記の準備が難しい場合は、講師側より持ち込み可能 |    |